



虫の目、鳥の目通信 第18号

会員募集中!

2007年12月15日



2007年11月24日 簡保レクセンター跡地 工事前最後の自然観察会 大人19名、子ども1名

真っ青の空にミサゴやハイタカが舞い、とても気持ちの良い1日でした。広場では、農機具の展示会があったので、入口側の林縁や弥生の丘の観察を主におこないました。九州歴史資料館建設工事前の最後の観察会ということで、遠くから久しぶりに参加された方々もいらして、ゆっくりと散策しました。では、参加者の感想です。

溝口 道ばたでミヤマホオジロを見ることが出来た。初めてで嬉しかった。

大渡 カヤネズミの古巣、良く見つけたもんだと感心した。

吉木 一言で茅といってもメリケンカルガヤなど外来のものやススキなど色々あるんだな。

廣 ビナンカズラの赤い実を嘗めたら、ほんのり甘かった。中を見てハートの形の実があった。感激。

末永M 野鳥が群れてとんでいるのをみてあんなにいるんだな、とびっくりした。

大塚 タテハモドキというチョウを初めて見た。感動もので、チョウにのめり込むかも知れないと思った。久しぶりに来たが、気持ちの良いところで、自然は残さなければならない、と再度思った。

松下S 楽しかった。キトンボを見られて嬉しかった。

松下M 鳥の声が沢山聞けた。ハマヒサカキの臭いにびっくりした。

山本M 楽しかった。色々写真に撮れてときどき、自分でみつけたものが嬉しかった。特にギシギシの葉についていた幼虫が菌に冒され、菌糸がでていて、すごいな、と思った。

山本S 青い空のもと、樹木の紅葉の他にも草紅葉といわれる草の紅葉がきれいだった。カラスザンショウの実、めったに落ちていないのにあったので、採集出来て嬉しかった。



辛島 カラスザンショウの実の臭い、とても良い香りだった。

吉岡 途中から参加したが、タテハモドキの裏翅、表翅を見られて良かった。

勝野 最後の観察会でカヤネズミの巣を見られて良かった。それに、すぐに末永さんが、自分で他の古巣を見つけることができて良かった。

ネコ 遅れた参加だったが、ガマの綿毛を久しぶりに見ることが出来た。ガマの穂は、触ったとたんパッと弾けてもこもこになる。それがおもしろくて何度も触って遊んでいた子どもの頃の記憶と風景がよみがえってきた。

末永k カヤネズミの古巣を自分で見つけることができて、嬉しかった。

松永 皆さんのおかげで簡保跡地の観察会をやることができた。今日は20人、いつもより多い参加で嬉しかった。今後とも観察会は続けたいので、ブログや通信を見て欲しい。



今後の予定

12月22日(土)、1月26日(土)

集合 9時30分 小郡市埋蔵文化財調査センター駐車場 要保険料など。

お知らせ

1. 環境教育読本出版 「ひとつの川から見えるもの-筑後川支流・高良川流域から-」
久留米の自然を守る会申し込み受付中 (お早めどうぞ!)



A4版355pの大作で、1冊2000円

(郵送料、振り込み手数料は別途)

久留米の自然を楽しむ会事務局

<http://kurumenoshizen.net/>

fushin@kurumenoshizen.net

または、電話 0942-46-8622

FAX 0942-46-8623

2. 今回は付録はありません。前回の記録は次回に回します。



発行元 三国丘陵の自然を楽しむ会

連絡先 willard@mbc.ocn.ne.jp

編集協力 松下雅子、勝野史雄、
写真・カット・文 まつながきよこ

2007年11月30日

広々としたイカルチドリの広場の最後の写真です。

沢山の生き物たちに再び出会えることを祈りたいと思います。